



2010年3月11日

# ほ っ と ニ ュ ー ス 30



上山高原エコミュージアムの“ほっ”なニュースをお届けします。

## 視察旅行報告！～島根の視察旅行に参加して

2月20～21日の一泊二日で、上山高原エコミュージアム視察旅行に参加させていただき、視察先NPO法人「緑と水の連絡会議」の取り組みについて、多角的経営と言うか何でも屋というか大変感銘を受けました。

この法人は、日本における伝統的農林漁法を継承する農林業者とともに、自然再生促進法に鑑み里地、里山特有の文化的景観及び生物多様性の保



出雲大社で記念撮影

全を目指し、また、その実現の為都市と農村との人的・物的交流に関する事業を行い、循環型社会の再構築・コミュニティの再編・地域活性化及び人づくりに寄与することを目的としていました。全国ではまだ116法人しかない国税庁の「認定NPO法人」を取得されていました。NPO視察後には、石見銀山を見学しました。石見銀山は1526年発見され、1533年から精錬1923年閉山となる。私達が見学した龍源寺間歩は他の銀山と共に「石見銀山遺跡」として2007年世界遺産に登録されています。山林には殆どといってよいほど沢山の竹が生えており所々で、NPO法人「緑と水の連絡会議」作業員による竹の伐採がなされていた。(報告 尾崎美津人)



石見銀山



### 上山エコ リポート&リポート

#### 2つのカンジキハイキング実施報告

#### ～青下編(1/24)～

まずは、体験ハウスでカンジキ作り。参加者は講師とストーブを丸く囲み、高原周辺で取れた木を丸めるところから始めました。要所を針金で留めて、ロープを巻き完成。ロープの張り方に皆さん苦労していました。

会員の皆さんから、かきもちやお茶、そしてお昼には郷土料理「ジャブ」の差し入れをいただき、いよいよ作りたてのかんじきを履いてのハイキング。積雪は約80cm、天気は申し分なし。滝の



水量は少なめでしたが、すがすがしい気分でプログラムを終えました。

#### ～海上編(2/24)～

こちらはハイキングからスタートです。布滝、尾の谷滝と滝巡りを楽しみました。積雪は50cm程度と例年より少なめでしたが、途中で狐が雪を掘ってカエルを捕らえた跡やウサギのフン、セッケイカワゲラ、トビムシなどを観察しながらワイワイ歩きました。それぞれの滝は水量も多く、見応え十分でした。帰りにはサブ拠点で、海上の皆さんによるおもてなしを受け、午後3時にはふるさと館に戻り、解散となりました。



## 3～4月のプログラムのご案内

### モニタリング報告会

日時 3月21日(日) 1:30～  
 場所 ふるさと館  
 内容 自然復元作業の進み具合や、高原の自然の変化の様子を、いろいろな分野から報告します。  
 報告者 神戸大学武田研究室、日本イヌワシ研究会、ひょうご環境創造協会、保全部会、調査研究部会ほか



### 上山高原山開き



#### 春を告げる高原の オープニングプログラム!

残雪残る高原で春一番のプログラム。  
 今年の火入れはよく燃えるかな。

日時 4月24日(土) 9:00～  
 内容 山開き式

火入れ作業  
 ハイクをしながら下山  
 昼食交流会(ふるさと館で  
 行います。)

定員 50名(定員になり次第締め切ります)

参加費 無料  
 小雨決行ですが、天候により火入れを中止する場合があります。

### エコミュージアム リレー報告 その23

植村 慶子



立春も過ぎ、日差しも暖くなり、上山高原の里にも、春の気配を間近に感じております。私は恵まれた自然に魅力を感じ、会員として入会1年目を迎えようとしております。年間取り組んでいる事業の中で、サテライト部会としての活動が多く、この活動の中で、大変好評であった干し芋作り、又新たな試みとして、地元素材を使用したカキモチ作り等、何事にもチャレンジする姿勢が必要であるなど、多くを学び、人と人とのふれあいのチャンスを得ることが出来ました。

また平成21年度の視察研修旅行では、島根県太田市のNPO法人「緑と水の連絡会議」を視察しました。ここでは、里地、里山、里海の生物多様性の保全を目指し、活発に取り組んでいる様子をお聞きしました。そして2007年7月に世界遺産に登録された、石見銀山を散策し古い建物や街並みの保全の取組に興味深さを感じました。この研修旅行も、和やかな雰囲気の中で、楽しく、参加者との交流を深める事が出来ました。

今後は、この恵まれた自然、環境を守り、地域の活性化に向けて、知恵を出し合いながら新たな取り組みを目指し、活動できればと思っています。新たな取り組みを目指し、活動できればと思っています。今後は、この恵まれた自然、環境を守り、地域の活性化に向けて、知恵を出し合いながら新たな取り組みを目指し、活動できればと思っています。



### 事務局だより

3月になり、冬もそろそろ終わります。石橋の椎茸畑では、そろそろ椎茸が頭をもたげ始めています。

昨年は、2月26日サテライト部会の女性陣により採取が行われました。今年は昨年より2週間くらい遅い感じですが、3月中頃からシイタケの採取と加工販売で、ふるさと館は忙しくなりそうです。



### エコミュージアムのたからもの

### 14 根あけ

雪が残るころ、木々の根元だけが一早早く、丸い形に雪が溶ける現象を「根あけ」と言います。春に向かう森の風物詩で、見慣れている方も多いことでしょう。ではなぜ根あけができるのでしょうか？ 根を伝って落ちる雨水や、幹をめぐって吹く暖かい風、木の体温？などがその原因言われています。「知らなかったなあ」という方、雪が残るうちにぜひ木々の根元を観察してみてください。



皆を釘付けにした冬のオリンピックも終わりました。夏に比べるとごんまりしていますが、雪と氷の祭典ならではの美しさがあります。カナダの人たちはクロスカントリーが大好きで、誰もが楽しむとてポピュラーなスポーツだそうです。上山でもかんじきハイキングが人気ですが、春先の高原クロカンもきっと気持ちいいでしょうね。

特定非営利活動法人 上山高原エコミュージアム

事務局 上山高原ふるさと館内

〒669 6953 兵庫県美方郡新温泉町石橋757-1

TEL(0796)99 4600 FAX(0796)99-4601

E-mail: ueyama-eco@yumenet.tv

http://www.ueyamakogen-eco.net